

社名 株式会社 坪井利三郎商店  
 本社 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目22番7号  
 地下鉄名城線「矢場町」駅下車 徒歩7分  
 TEL/FAX 052-241-0926(代) / 052-264-2545  
 創業 明治35年(1902年)  
 資本金 3,000万円  
 従業員数 70名(準社員含200名)  
 作業所  
 栄作業所  
 名古屋市中区栄5丁目21番12号  
 長久手作業所  
 長久手市溝之杵2646番1号  
 浜松作業所  
 静岡県浜松市中央区高丘北1丁目41番12号  
 事業内容 屋根外装事業 / 社寺営繕事業 / エネルギー事業 /  
 外構・造園事業 / ストック改修事業  
 関連会社 株式会社ケンタツ / アイトー瓦工業株式会社  
 株式会社ヤマモト電設 / 南久屋ビル株式会社



瓦葺き職人にしか見えない景色がある

# THE ROOFER WORKS 2025

[先輩社員に聞いてみた]

松永 樹  
 久田 晃己  
 馬場 望

[あなたはどっち?]

名人コース or 社長コース

[巻頭インタビュー]

5代目からのご挨拶

## いま話題のお仕事 ルーフアーとは

坪井利三郎商店ってどんな会社?  
 独自のルーフアー制度を紹介!  
 気になる質問にすべて答えます!



### 栄作業所



### 長久手作業所



瓦んとイメージ動画



### 瓦んと -KAWARANT-

2023年10月長久手作業所内に職業の「職」と食事の「食」の両方を体験できる施設として瓦んとをオープンしました。本格的な和風カフェスペースに日常的に一般のお客様が来て頂くことでどこか遠いイメージのある「職人」を身近に感じて頂くことを目的としています。

月に1度日曜日に小さなお子様「職人」としての体験をしてもらうことのできる「瓦祭り」を開催しています。昨年5月のGWにはカフェ棟の屋根をお子様にも参加してもらいながら葺き替えるイベントも実施しました。



5代目からのご挨拶

# President's MESSAGE

当社では、創業以来自社職人の育成に力を入れています。  
 一人前の職人を数多く育て、建築文化を次の世代に引き継いでいくことこそが老舗屋根  
 工事店である当社に課せられた使命だと感じているからです。  
 そういった当社の想いに共感し「自分も伝統建築に携わってみたい」という若い世代の  
 子が毎年入社して、一流の職人(名人)を目指し日々頑張ってくれています。  
 若くやる気のある社員を応援するため育成手当を用意するなど「早活」を支援する制度  
 も充実しています。伝統建築の世界で自分の可能性にチャレンジしてみませんか。

代表取締役社長 坪井 健一郎 (5代目)



更なる成長を目指す当社で、  
あなたの実力を発揮してみませんか。

## Portfolio 施|工|事|例



▲大須観音



▲豊川稲荷



▲犬山成田山



▲おかげ横丁



▲志摩スペイン村



▲名古屋市能楽堂



▲名古屋城本丸御殿

伝統的な建築物の屋根を手掛けることが多  
 い当社の場合、自分達の手掛けた仕事が一  
 の後何十年に渡り残る...ということもよく  
 あります。  
 実際、我々が現在改修工事を手掛けてい  
 る現場も明治や江戸時代の後期に建てられ  
 た建物です。  
 自分の仕上げた屋根が何十年に渡って建物  
 を守り続け、次の世代に受け継がれていく  
 という「やりがい」は、なかなか他の仕事では  
 経験できないのではないのでしょうか？

自分の手掛けた仕事  
歴史に残る

Q 「坪井利三郎  
商店」って  
どんな会社なの？



### 名古屋の老舗 屋根・外装工事専門店

坪井利三郎商店は1902年の創業以来、明  
 治・大正・昭和・平成・令和と5つの時代  
 を120年以上に渡り、屋根を葺(ふ)く仕事を  
 続けてきました。一般住宅はもちろん社寺仏閣等の  
 伝統的な建物をはじめ、誰もが知っているあのテーマパークや  
 様々な大型施設の屋根工事を手掛けてきました。老舗の屋根工事  
 店という今のポジションに満足することなく、建築に軸足を置き  
 ながら、社寺仏閣の改修を中心とした木造建築事業や、意匠性の  
 高い外構・造園事業など様々な新規分野へも取り組んでいます。



## History 歴史

- 明治 大正 1902年 (明治35年) 初代 利助が厳しい修行を経て創業(現名古屋パルコ東館)
- 1946年 (昭和21年) 戦後の復興事務所建設
- 昭和 1949年 (昭和24年) 合資会社設立
- 1969年 (昭和44年) 長久手に倉庫設置しドロン事業に進出
- 1984年 (昭和59年) 本社社屋竣工 移転 / 瓦ショールーム開設
- 平成 1993年 (平成5年) 株式会社に組織変更
- 1994年 (平成6年) 長久手作業所開設
- 1997年 (平成9年) 栄作業所開設
- 2002年 (平成14年) 創業100周年を迎える
- 2009年 (平成21年) エネルギー、社寺宮繕事業並びに外構エクステリア事業に進出
- 2015年 (平成27年) 浜松作業所開設 / 板金事業に進出
- 令和 2022年 (令和4年) 創業120周年を迎える



120周年動画



2022年に  
創業120周年を  
迎えました



▲名古屋城金シャチ横丁

### 上記以外の主な施工例

- ◆東京ディズニーシー (千葉県浦安市)
- ◆ジブリパーク (愛知県長久手市)
- ◆徳川美術館 (愛知県名古屋市)
- ◆岡崎城 大手門・東隅櫓 (愛知県岡崎市)
- ◆八事興正寺 (愛知県名古屋市)
- ◆方広寺 (静岡県浜松市)

災害時の  
復興支援も  
行っています



昨年の能登半島地震も記憶に新しいですが、東日本大震災や熊本地震  
 などの震災や、近年の大型台風により日本の各地で大規模な自然災  
 害が発生しています。そのような災害時に当社では、事業を通じた  
 社会貢献活動の一環として現地に入り、被災した人々が1日も早く  
 日常を取り戻せるよう復旧活動に力を入れております。

キャリアアップの仕組み

# ROOFER'S CAREER UP

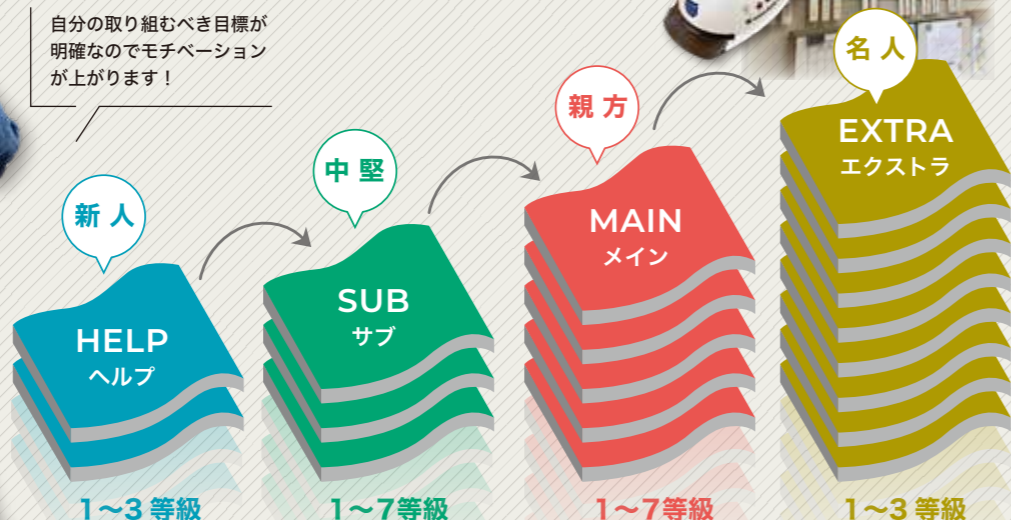
## 全20等級の社内職務等級制度の「ルーファークラス」って何？

創業以来120年以上に渡り自社で職人の育成を続けており、職人の技術力を正に評価するためにドイツのマイスター制度を参考に、独自のルーファークラス（職務等級制度）を採用しています。職能に関する126項目の社内基準に基づき判定し、その基準を一つ一つクリアしていくことで等級が上がっていきます。

客観的な基準に基づき正しく職人としての資質や技術力を評価されることで、現在の自分の立ち位置が明確となり「やる気」をもって仕事に臨むことができます。ルーファークラスもドイツのマイスターのように周りから尊敬されるような地位や名誉を有する職業として、若い人達があこがれる存在になってくれることを願っています。



自分の取り組むべき目標が明確なのでモチベーションが上がります！



## 瓦を葺く仕事とは…

屋根は建物の印象を大きく左右すると共に、建築物を守る上で欠かすことのできない大切な部位となります。そのためきれいに仕上げることはもちろん、確かな品質での施工が求められます。また様々な種類の屋根材が開発される中、瓦に限らず色々な屋根の施工方法を習得していかなければなりません。しかしその分、一人前になるまでには時間を要しますが、一度技術を身につければ、安定して仕事をしていくことができます。



## 安定した給与のもとで 着実な成長を図る

屋根の上での仕事は地上での仕事に比べると決して楽なものではありません。せっかく伝統建築に興味を持って入社頂いた社員の皆さんに安定した給与のもとで安心して技術を身につけてもらえるよう初任給としては他社さんに比べてもかなり高い数字を設定させて頂いています。

高卒初任給 **255,000円**  
18歳入社で21日出勤

充実した独立制度

# Independence system

当社では社内で技術を磨き名人を目指す「名人コース」だけでなく、当社専属の工事店として独立を支援して自分の力で稼いでいく「社長コース」も設けて様々な角度からの応援をしています。



あなたはどっち？

## 名人 or 社長



名人

エクストラルーファークラス 2等級  
岸根 正己 (1985年入社)

ディズニーシーは建物ごとに経年数が違うため、屋根や壁の傷み方も様々。自然な形で古びた雰囲気表現するには苦勞の連続でしたが、今までにはない考え方や技術を身に付けることができました。

いちばん思い出している現場は  
東京ディズニーシー

自分が受け継いだ  
伝統の技術を  
次の世代に  
引き継ぎます！



名人

エクストラルーファークラス 2等級  
光嶋 孝雄 (1992年入社)

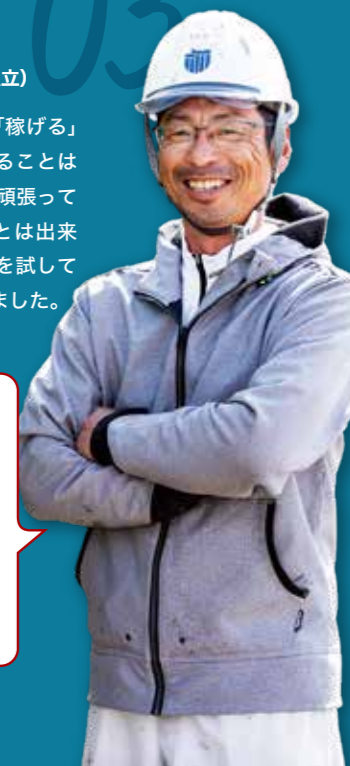
冗談を言ったり相談に乗りながらモチベーションを上げていく。やる気がある子には本人にあった課題を与える。一流の職人は「次世代を担う若い子をどのように育てていくのか」にも力を注ぐ必要があります。

社長

田中ルーフ 社長  
田中 康彦 (2018年独立)

独立を決めた一番の理由は「稼げる」と思ったからです。社員でいることは安定している反面、どんなに頑張っても自分の給料以上に稼ぐことは出来ません。もっと自分の可能性を試してみたいと思い、独立を決めました。

今では月に  
120万円以上稼ぐ  
一國一城の主です！



先輩社員に聞いてみた /

# MATSUNAGA TATSUKI

Interview 01

アイスホッケーと職人の  
ダブルキャリアで頑張っています。

日本体育  
大学  
体育学部卒  
ヘルプルーファ-2等級  
松永 樹 (2024年入社)

入社して丸一年が経ちました。現在は、プロのアイスホッケーチームに所属しながら、将来を見据えて互職人としてのキャリアも積んでおり、いわゆる「二足のわらじ」で日々頑張っています。夜遅くまで練習があるため、帰宅すると日付が変わってしまうこともありますが、出勤時間に配慮していただいているおかげで、無理なく続けることができています。職場の先輩方はとても親切で、丁寧に仕事を教えてくださるので、毎日楽しく働いています。また、アイスホッケーの試合がある時には、先輩たちが応援に来てくれることもあり、とても励みになっています。これからも両立を大切にしながら、一步一步成長していきたいと思っています。



坪井利三郎商店は、名古屋を拠点とするプロアイスホッケーチーム「名古屋オルクス」とスポンサー契約を結ぶとともに、選手を社員として受け入れ、競技と仕事の両立を支援しています。

選手たちは現役でプレーを続けながら、将来を見据えて職人としての技術や社会人としてのスキルを身につけており、競技引退後のキャリア形成も含めたサポートを行っています。スポーツと仕事の両立を支えるこの取り組みは、地域に根ざした新しい人材育成のかたちとして注目されています。



名古屋オルクスは、2023年に発足した名古屋市を拠点とするアイスホッケーチームです。2024年からプロチームとして本格始動しました。地元企業やファンと連携しながら、地域に根ざした活動を行っている注目のチームです。

先輩社員に聞いてみた /

# HISADA KOUKI

Interview 02

出来ることが増えていく  
感覚がめちゃくちゃ楽しい！

名古屋  
工業高校  
建築科卒  
サブルーファ-5等級  
久田 晃己 (2017年入社)



インタビュー  
動画はこちら

もともと学校で建築を学んだということもあり建設関係の仕事に興味がありました。入社決め手は「創業が明治35年と歴史があり安定していたこと」と「建物に欠かせない屋根の仕事」、そして何より「しっかり稼ぐことができる」というのが大きかったですね。実際の仕事では歴史のあるお寺や人気の商業施設の屋根を施工する仕事にも関わらせてもらって楽しいです。特に三重県の「地中海村」の工事では普段扱わない海外の珍しい瓦を使った工事だったのと、有名観光地の大きな現場ということでもワクワクしました。



「社長」目指して頑張っています！

この会社は一人前の職人としてステップアップしていくための仕組みや基準がしっかり決まっています。「次はここを頑張ろう！」という気持ちになれるんです。3年目には現場を管理する「職長」の仕事も任せられました。責任は大きいけど、出来ることが増えていく感覚がめちゃくちゃ楽しいです。

ここで色々な経験を積んで、いずれは独立して社長になりたいです。会社には独立を応援してくれる制度があるので、独り立ちするために必要な技術が身に付く現場をたくさんらせてくれるのでありがたいです。



技術を身につけることはもちろん大切ですが、現場をキレイに保つための整理整頓やお施主様への元気な挨拶といった技術以外の基本的な姿勢もプロとしていつも心掛けています。



屋根の上での作業が多く、最初は慣れない高所での作業に怖さもありましたが、今は全く気になりません。でもどれだけ経験を積んでも油断は禁物。安全に配慮する心構えは忘れません。



休日は子供を近所の公園に連れて行ったり、一緒に自転車に乗る練習をしたり…。遊びまわってクタクタになりますが、幸せな時間です。子供たちに「パパは社長で仕事も出来てカッコいい！」と言われてもらえるよう頑張ります。

先輩社員に聞いてみた /

# BABA NOZOMU Interview 03

守山高校 普通科卒 サブルーファー7等級  
**馬場 望** (2002年入社)

進路が決まらないまま不安の中で迎えた卒業式の日、父から紹介されたのが、坪井利三郎商店の職人さんの父親でした。そこで初めて「瓦職人」という仕事を知りましたが、最初は瓦を作る人だと思っていて、「屋根を葺く仕事」だと聞き、思わず「カッコいい!」と興味を持ちました。すぐに連絡し、2、3日後には現場に出ていましたが、朝は早いし材料は重いので、実は3日で心が折れそうに(笑)。それでも紹介者の存在が励みになり、「まずは1ヵ月」と決めて続けていくうちに、少しずつ仕事に慣れ、気がつけば3ヵ月、そして3年。気づけばあっという間に月日が過ぎていました。今ではこの仕事に出会えたことを本当に誇りに思っています。



挑戦できるから飽きません!  
どんどん新しいことに



## 将来の目標

瓦職人になったからには、いつかお寺の屋根を葺いてみたいという目標があります。でもその前に、板金や壁の施工など覚えることはまだまだたくさんあります。焦らず地道に、一つひとつの仕事に丁寧に向き合いながら、職人としての力を高めていきたいと思っています。誇りを持って、これからもこの仕事を続けていきたいです。

## 仕事の面白み

屋根を葺くといっても、家によって内容は全く違います。新築、リフォーム、お城やお寺など、同じ現場は一つもなく、毎回新しい発見があります。会社や先輩たちも、どんどん新しいことに挑戦させてくれるので本当に飽きません。厳しさもありますが人間関係も良く、オフではフラットに接してくれる居心地の良い職場です。こんなに良い環境で働けるのは、本当にありがたいと感じています。



今日も頑張ろう!

# 1 day Schedule とある1日の仕事の流れ



## 06:30 作業所集合

朝は作業所に集合して1日の作業内容や現場での注意事項についての打合せをします。現場での事故を防ぐために作業所長と一緒に危険予知(KY)を行い、必要な材料や荷物を車に積み込んで出発します。

安全第一!



## 07:00 現場に向けて出発

現場に向かう途中のコンビニで、朝食を買って食べる事が多いです。「おっ!新作発見!今度ぜひ買ってみよう。車の中では、今度行くライブの話で盛り上がりました。」

出発



## 08:00 作業スタート

現場の状況をみながら、足場の点検を実施します。1日の作業段取りに関して簡単に打合せをしたら、作業開始前の現場でのKYを再度実施します。「今日も安全第一に頑張ろう!」



## 10:00 休憩① ~30分間~

安全に作業を行うためにお昼休憩とは別に10時と15時に2回休憩を取ります。しっかり水分補給を行い体を休ませます。今日はお施主様にお茶とお菓子を用意してもらったので美味しくいただきました。御馳走さまでした。

休憩タイム



## 12:00 昼食・休憩

今日は自宅から持参したお弁当を食べました。近くに良い店があれば社員同士で食べに行ったりもします。美味しいラーメン屋さんを発見した時はテンションが上がります。今度家族で食べに来よう!



## 13:00 午後の作業再開

お腹もいっぱいになってひと休み出来たので、午後からも仕事頑張ろう!



## 15:00 休憩② ~30分間~

またまたお施主様にお茶とお菓子を用意して頂きました。もちろん美味しくいただきました。ありがとうございます。さあ、ラストパート頑張ろう!



## 17:15 作業終了・片づけ

作業終了前に15分ほど片付けや現場の掃除をします。1日の作業の内容を日報に記入したら、終了です。お疲れさまでした。現場の場所によって作業所に戻ったり、自宅に直接帰ったりします。

1日お疲れ様でした!



# 給与条件・各種手当・制度について

## ズバリ！初任給はいくら？

18歳入社で21日出勤の場合

# 255,000円

月給制・社会保険完備・賞与年2回  
退職金制度（確定給付・確定拠出）  
賞与時の選択制確定拠出年金

内訳

|          |          |
|----------|----------|
| 基本給      | 186,000円 |
| 育成手当     | 21,000円  |
| 職務手当     | 3,000円   |
| 精勤手当     | 35,000円  |
| 運転手当     | 5,000円   |
| ワークツール支援 | 5,000円   |

※2020年度における高校卒の初任給平均は169,687円です（産労総合研究所調査）

## 精勤手当

11,000～75,000円

毎月の実際の出勤出面（通常出面と残業出面の合計）を基準として精勤手当基準表の規定に従い精勤手当を支払います。



## 育成手当

18～28歳

就業したばかりの若い世代は、技術的にも未熟なためベテラン社員に比べると給与が安くなりがちです。そこで18～28歳の若年層向けに制度を設け、一流の職人を目指すやる気ある若い世代を応援しています。

## 福利厚生

派手さはありませんが教育訓練だけでなく、ケガの補償やもしもの病気の際の医療費の補償まで手厚くカバーしています。

- 賞与 年2回（夏・冬）
- 有給休暇（入社6ヵ月経過後）
- 社会保険（雇用保険・労災保険・健康保険・介護保険）完備
- 厚生年金
- 家賃補助制度（会社規定による）
- 退職金制度【確定給付型企業年金・選択制確定拠出年金】
- 社員旅行（1回/年）、定期的な社内懇親会
- 各種研修あり、資格取得費用の補助制度（業務に資すると会社が認めたもの）
- キャリア形成に関する社内面談（2回/年）
- 業務災害総合保険加入（業務上のケガや死亡事故に関する補償）
- メディカル保険加入（もしもの病気の際の自己負担分を補償）

## 各種表彰制度

毎月自分が携わった現場ごとの基準人工達成を始め様々な項目での表彰制度を設け頑張ってくれた社員を表彰しています。

- 基準人工達成者表彰（毎月）
- 上・下期基準人工達成率優秀者表彰（半期×2回）
- 年間基準人工達成率優秀者表彰（年1回）
- 年間出面賞（年1回）
- 年間MVR（年1回）
- 賞金王（年1回）など

## 健康経営

2023年より経済産業省・日本健康会議が認定する「健康経営優良法人」の認定を受けています。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康増進の取組を実践している企業を認定する制度です。



2025年も健康経営優良法人に認定されました

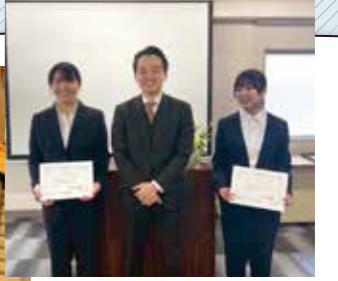


# 気になる質問にすべて答えます！

## Q 若い職人さんはいますか？

高齢化が問題となっている建設業界ですが、当社では毎年高校を卒業した若い子が社員として入社してくれており、**10代・20代の社員が10名以上在籍**しています。今年の春には4名の新しい仲間が入社しました。

この春入社の新入社員（ルーファーク職・総合職）▶



## Q 社内交流の場はありますか？

昔からゴルフの同好会があります。ゴルフ同好会では年2回取引先も招待してのコンペを開催しています。また2年程前から新たに**野球同好会も発足**し、不定期に取引先との試合を開催しています。元甲子園球児も在籍しており、今後更に力を入れていく予定です。**本社には筋トレマシーンも導入**しました。その他にも釣り好きやサッカー・バスケ・バレー経験者が集まり、正式な同好会化をもくろんでいます。



## Q 外国籍の職人さんはいますか？

現在、日系ブラジル人でブラジルで生まれ、日本で育った職人さんが働いてくれています。元々工場の派遣社員として働いた後に当社に入社してくれました。愛知県が様々な職業分野で活躍している外国人ロールモデルを紹介するwebサイトでも紹介されています。

インタビュー動画はこちら



## Q 社員旅行はありますか？

社内レクリエーションの一環として、年に1回の社員旅行を実施しています。**旅行費用は全額会社が負担**します。コンセプトは「思い出に残る」「自分ではなかなか行かないけど体験したら自分の経験値が上がる」です。過去には大阪・神戸、熊本・博多、香港・マカオなどを旅行しました。2023年は沖縄、2024年は金沢に行ってきました！

